

安良沢小学校区自治会連絡会（日光市）

安良沢小学校区自治会連絡会は、「みんなで遊ぼう！雑木林」という活動を実施しています。毎回、安良沢小学校の多くの子どもたちが参加し、今年で12回目になります。

主な活動の一つは、「カワラノギクを植えよう！」です。学校近くの大谷川河川敷に絶滅危惧種カワラノギクを植えています。子どもたちは、植物の保護活動だけでなく環境について学ぶ機会にもなっています。

二つめが「雑木林で遊ぼう！」です。この活動は、学校近くの雑木林に、自治会だけでなく保護者の協力も得て、この日限りの本格的な手づくりアスレチックコーナーを設置します。子どもたちは思う存分自然の中で遊ぶことができます。

その後、「雑木ハヤシライスを食べよう！」「キャンプファイヤーを楽しもう！」と活動は続き、子どもたちにとって夏の日の貴重な体験となっています。自治会から多くのスタッフが企画運営に携わり活動をしています。



鹿沼市剣友会（鹿沼市）

鹿沼市剣友会は、昭和58年（1983年）に鹿沼警察署のご厚意により道場を開放していただき、剣道を通して青少年の非行防止と健全育成に役立てればと32年間活動しております。

現在は、小・中学生を中心に約60人の子供たちが、「剣は心なり 心正しければ剣亦正し 剣を学ぶものは先ず心を学べ」の道場訓の教えのもとに、剣の技のみならず、礼節を重んじる心・苦しいことにも耐える心を養うべく、日々稽古に励んでおります。

また毎年、鹿沼警察署と連携して全国地域安全運動として、市内街頭にて少年剣士による防犯広報活動を実施して、地域の安全の普及にも取り組んでおります。

これからも、剣道を通して一人でも多くの子供たちが「強く、明るく、逞しい」青少年に育ててもらえるように活動してまいります。



宗円獅子舞保存会（宇都宮市）

宇都宮市立国本西小学校では、地域の伝統文化を大切に受け継いでいくために、平成8年度より獅子舞が始まりました。宗円獅子舞保存会では学校の要望も有り、子どもたちとの指導を行っているところです。

月1～2回のクラブ活動の時間に獅子舞の練習に取り組んでいます。

今年度は、6年生3人、5年生5人、4年生3人の計11名が、頑張っています。腰に小太鼓、頭に大きな獅子のお面を付け、笛に合わせて踊ります。毎年、8月に行われる宮まつり、10月実施の学校PTA主催の「国西バザール」、11月に地域主催のくにもとまつりで獅子舞を披露しています。今年、「宇都宮城趾まつり伝統文化と歴史の祭典」で、保存会の獅子舞と一緒に城趾公園を会場に多くの市民の皆様の前で獅子舞を披露しました。

これからも子供達を見守りながら、郷土の良さを体感してもらい、地域の伝統を守っていこうとする心を育てていきたいと思えます。



中央地区コミュニティ運営委員会（那須塩原市）

中央地区コミュニティでは、地区内にある東小学校児童の下校時見守りとして、毎週火曜日と木曜日に学校安全パトロールを実施しています。

この活動は、11年程前から行っており、その甲斐あってこの地区での連れ去り事件は起きていません。子どもたちが安全に暮らせる町づくりのためにコミュニティ丸となって積極的に取り組んでいます。



栃木警察署管内少年指導委員会（栃木市）

栃木警察署管内において、青少年の非行防止や健全育成を目的に、昭和50年6月に結成され、現在、会員66名で活動しています。

各地域のイベントや祭事に積極的に参加し、少年の補導活動や有害環境浄化活動をはじめ、未成年者飲酒喫煙防止やフィルタリング啓発の協力要請のほか、風俗店に対する立ち入りや、少年に対する立ち直り支援活動の一環として農業体験等を行っています。

また、地域全体に青少年を見守る意識付けを図るために、職域ボランティアや学校等と連携して、月1回、少年のたまり場となりやすい駅周辺等を重点に、提灯を手に持ちながら、地域安全パトロールを行うなど、地域に根ざした活動を心がけています。



ピアリンク in とちぎ（下野市）

栃木県全域で、自尊感情を回復し、コミュニケーションスキルの習得を含む生二性の健康教育を実施しています。また、街頭キャンペーンに使用する同世代向けのミニブックの作成や、思春期の若者向けのイベントの企画・準備・実施、特に、例年、世界エイズデーの予防啓発キャンペーンを実施し、今年は11月29日栃木県民協働フェスタ2015で健康教育を行いました。また、思春期特有の自己の性自認や性の対象選択・性受容への不適応（同性愛や性同一障害）について、思春期ピアカウンセラーの自己研鑽として、専門講師を招いた公開講座を実施しています。さらに、東日本大震災地復興支援として平成24年度から、被災地へ出向き、自尊感情を取り戻し、人生設計を再構築する生二性の健康教育と共に、ピア・カウンセリングの場を設け、心のケアの相談を実施しています。



平川はやし連（栃木市）

平川はやし連は昭和11年に有志により発足、平成2年より子ども達を対象に地域で継承されている「地囃子（大杉囃子）」の実技の指導を行っております。指導を通し、伝統文化の継承と子ども達の豊かな感性・創造力の向上に努めるとともに、祭りに参加し、地域とのふれあいを経験させ、郷土愛の心が育つ一助となるよう活動しています。又、都賀地区の「子どもおはやし大会」にも積極的に参加し発表、練習の成果を発揮しています。

当会では、後継者を育成すべく青年層会員（子どもおはやし経験者も入会）を中心に「小松流五段囃子」の指導も行っており、技術の向上及び新人育成に向け毎週厳しい練習に励んでおります。

又、自治会夏祭り・秋祭り、つがの里花彩祭、まるつがまつり、とちぎ秋祭り、盆踊り等の地域イベントに参加し、地囃子、五段囃子、栃木櫓音頭、日光和楽おどり等を演奏、披露しております。



平松本町女性防犯パトロール隊（宇都宮市）

平松本町女性防犯パトロール隊は、平成17年4月に発足し、今年で設立十周年を迎えました。私たちの活動の特徴は、児童の下校時に合わせて地域をパトロールしながら、道路や空き地・公園などに捨てられたゴミや空き缶などを拾い集める地域の清掃美化活動も同時に行っていることです。これは街の環境をきれいに保つことが犯罪の抑止力になるという「破れ窓理論」によるものです。子どもたちの見守りや声かけを行い、安全確保に努めていますが、元気な笑顔の子どもたちとの挨拶でこちらも元気をもらっています。

ボランティアグループの高齢化や後継者の育成が問題になっていますが、こうした活動を無理なく楽しんでもらえるような工夫が大切だと思います。私たちは「防犯ボランティアは愉快だ」をモットーに、自治会の会員の協力を得ながら、今後とも地域に住んでいる多くの方々との絆を広げて、女性ならではのきめ細かさで、安全で安心な街づくりをめざしていきたいと思っています。



野州轟一番太鼓（矢板市）

野州轟一番太鼓は、「子ども達が誇れる郷土づくり」を目指し、2001年10月に矢板市の有志により設立されましたが、現在は、那須塩原市にも教室を開講し、和太鼓という伝統文化を子ども達に伝承するとともに、毎年、矢板市内を中心とした県内約40箇所もの公演を通じ、幅広い世代間・地域間交流の経験を子ども達に与えています。

お陰様をもちまして、2012年には矢板市長から矢板市民力顕彰を授与され、また2013年には『とちぎTV「和太鼓コンテスト」(さくら市共催)』において、さくら市長賞及び一般の部週間最多得票賞のダブル受賞を果たすことができました。

今後とも、和太鼓が持つ「和」の技術継承はもちろんですが、老若男女の誰もが一緒に太鼓の修練を積むことにより培うことができる人間関係の「和」も大切にし、子ども達の健全育成に取り組んでいきます。



【各団体への問合せ先】

栃木県青少年育成県民会議（(公財)とちぎ未来づくり財団）

TEL 028-643-1005

FAX 028-650-5284

E-mail ikusei@tmf.or.jp